

# 新宿区 平和マップ



## 新宿区平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。  
 私たちは、世界で唯一の核被爆国民として、自らも戦火を受けた都市の住民として、戦争の惨禍を人々に訴えるとともに、永遠の平和を築き、この緑の地球を、次の世代に引き継ぐ責務がある。  
 国際平和年にあたり、私たちは、人類の生存に深刻な脅威をもたらす、すべての国の核兵器の廃絶を全世界に訴え、世界の恒久平和の実現を心から希求し、ここに新宿区が、平和都市であることを宣言する。  
 昭和61年3月5日 新宿区

新宿区には、次の世代に引き継ぐべき貴重な史跡が数多く存在しています。平和な世界をつくるためには、多くの人たちが戦争の恐ろしい事実や悲しい体験を学ぶことが大切です。私たちは、過去を憂えることや戦争で亡くなった人々を助けることはできません。しかし、未来に生きる人たちに「いのちを大切にす思いやりの心」を伝えることができます。新宿区平和マップが多くの方々に活用され、新宿区平和都市宣言にあるように世界の恒久平和が実現することを心から願っています。  
 新宿区平和派遣の会

発行年月 令和5年3月(第4版)  
 発行 新宿区総務部総務課  
 企画・制作 新宿区平和派遣の会 新宿区歴史博物館  
 印刷物作成番号 2022-11-2301

### A (四谷・神楽坂) コース

距離: 約 3.5km 所要時間: 約 80分

**3 袋町のイチョウ** 袋町 C-6

樹齢250年以上のイチョウの木です。戦時中、焼け野原となった街にこのイチョウが焼け残り、それを目標に被災した人々が戻ってきたといわれています。幹には戦災の時の傷(裂け目)が残り、そこからトウネズミモチやケヤキが生え、生命力を感じさせます。イチョウの木は水分を多く含むため、焼失せず残った木が今も数多く区内に存在しています。新宿区保護樹

**4 毘沙門天護国寺の石虎** 神楽坂 C-6

嘉永元(1848年)に地元の有志により奉納されました。東京空襲で奥の本堂は焼失しましたが、この石虎は残りました。戦火に遭ったため、台座の角が一部崩れています。美術的に素晴らしい彫刻で、新宿区指定有形民俗文化財に指定されています。

### ゴール JR東日本 都営大江戸線 東京メトロ東西線 有楽町線・南北線 飯田橋駅

**防衛省市ヶ谷記念館** 市ヶ谷本村町 D-5 巨知識

昭和12年に陸軍士官学校本部として建設。敗戦後は占領軍に接収され、昭和21年から2年間、極東国際軍事裁判の法廷として使われました。平成12年(防衛庁が六本木から移転した時)に現在の場所に移動。講堂は記念館として復元されました。(記念館見学は市ヶ谷台ツアーの一部であり、事前申込が必要。防衛省大臣官庁広報課企画係 03-3268-3111 内線21904) (http://www.mod.go.jp/ホ-ム/報道-白書-広報イベント/イベント-交流活動)

### スタート JR東日本 東京メトロ丸の内線・南北線 四ツ谷駅

**1 旧御所トンネル** 四谷 E-6

丸の内線四ツ谷駅新宿方面行きホームの先端から見えます。明治20年代、甲武鉄道は新宿から東京中心部への線路延長を計画していましたが、ちょうどその頃、日本と清国(中国)が対立し(日清戦争)、青山練兵場(現・神宮外苑)から兵隊を大量に輸送する必要に迫られました。そのため、陸軍は御用地の下にトンネルを掘る許可を取り付け、明治27年10月9日開通しました。現在もJR総武線下りで使用されています。

**2 陸軍省所轄地境界石・軍用地境界石・八紘一宇碑** 市ヶ谷八幡町 市谷地蔵八幡堂境内 D-6

市ヶ谷八幡宮の拝殿の右手奥に陸軍の境界石があり、右手には八紘一宇碑があります。「八紘一宇」とは世界を一つの家にするという意味で、太平洋戦争中、日本の海外進出を正当化するために用いられた標榜です。

### スタート JR東日本 信濃町駅

**1 陸軍省所轄地境界石** 信濃町 信濃町児童館と民音文化センターとの間 E-5

信濃町には、青山練兵場とともに陸軍の重要な施設があり、現在の慶應病院周辺には、主に食糧や軍需品などを前線に補給するための基地や兵舎がありました。また、練兵場では陸軍の観戦式が行われていました。

**2 葬場殿趾碑** 信濃町 聖徳記念絵巻館裏駐車場内 F-5

大正元年に明治天皇の葬場殿の儀(告別式)が行われた場所で、青山練兵場がありました。日清・日露戦争の観戦式も行われ、多くの兵隊がここから戦地へと出されました。

**3 榎太日露国境天測標** 信濃町 聖徳記念絵巻館前横見込み内 F-5

日露戦争が終り、ポーツマス条約によってカラフトの北緯50度より南を日本の領土とすることが決まりました。日露両国から天文学者や測量技師らが参加して国境を定めたときに使われた天測標のレプリカです。

**旧日本軍関係の年表 (明治時代)**

明治5(1872)年 陸軍省設置  
 陸軍兵学校戸山出張所開設(明治7年陸軍戸山学校と改称) \*陸軍省所轄地境界石 \*軍用地境界石 \*近衛歩兵第四・第六連隊跡碑 \*軍楽隊野外音楽堂跡 \*陸軍戸山学校址碑 \*将校会議室跡 \*近衛騎兵連隊之跡碑

明治15(1882)年 露露の森近衛兵射的場開設 \*射撃場土手跡 \*明治天皇射的砲術天覧所址碑

明治19(1886)年 陸軍医学堂開設 \*納骨施設

明治27(1894)年 日本、清に宣戦布告し、日清戦争始まる  
 甲武鉄道市街線・新宿～牛込間(5.6km)開通 \*旧御所トンネル

明治37(1904)年 日露戦争始まる \*彰忠碑

明治38(1905)年 ポーツマス条約締結 \*榎太日露国境天測標

大正元(1912)年 明治天皇御大喪 \*葬場殿趾碑 ([新宿区史-区成立50周年記念-]より一部抜粋) \*マップ掲載スポット

### C (夏目坂・箱根山) コース

距離: 約 2.9km 所要時間: 約 70分

**1 幸国寺の大イチョウ** 原町 C-5

境内には、樹齢500年以上といわれるイチョウの木が東西に2本あります。昭和20年5月の空襲で西側の木は戦火から近隣の民家を守り、一時枯れそうになりましたが地域の方々の善意で治療され、現在も力強く生き続けています。新宿区指定天然記念物

**4 軍楽隊野外音楽堂跡** 戸山 都立戸山公園内 C-4

陸軍戸山学校では軍楽教育が行われ、ここで組織された軍楽隊を陸軍戸山学校軍楽隊と称しました。箱根山の入り口にすず型に音楽堂跡が残っています。

**5 陸軍戸山学校址碑** 戸山 都立戸山公園内 C-4

明治時代、新宿区内には軍人養成を目的とした陸軍関係の諸学校がありました。明治6年に兵学校戸山出張所(翌年に陸軍戸山学校と改称)が設置され、軍事教育や研究が行われました。

**6 将校会議室跡** 戸山 都立戸山公園内 C-4

陸軍戸山学校の将校が会議を行った場所です。現在、私立戸山幼稚園の園舎として利用されています。

### ゴール 都営大江戸線 東京メトロ副都心線 東新宿駅 (EV出口)

**いのりの碑** 馬場下町 早稲田中学校・高等学校内 E-5 巨知識

昭和17年4月18日の東京初空襲は早稲田地域を襲いました。早稲田中学校校庭には約600人の生徒がいましたが、焼夷弾の直撃を受けた一人の生徒が犠牲になりました。同日21日に早稲田中学校講堂で戦国団葬にされ、昭和19年に、犠牲者を悼んで碑が建てられました。終戦直後に戦意高揚に利用されたとして取り外されましたが、昭和58年に当時の旧友たちが中心になり、その生徒を慰む「いのりの碑」が再び早稲田中学校に建てられました。以来、毎年4月18日になると、在校生たちによって献花が行われるようになりました。(学校施設内のため、一般の方の見学はできません。)

### スタート 都営大江戸線 牛込柳町駅 (東口)

**2 喜久井町観音** 喜久井町 感通寺境内 C-5

観音像の造立縁起の石碑には「親は愛児を抱き、若きは老いたるを庇い、夫は妻を助けんと為したる等、或は全身大焼炭化し、或は生けるが如く直立し、或は両手を虚空にして落命せる等」(一部抜粋)と昭和20年5月25日の空襲の惨状が刻まれています。また、町慰霊園の石碑には、忘れかけていた惨状を「歴史として伝え継いでいかなければならない」という決意が刻まれています。

**6 戦災者を供養するための観音像** 喜久井町 早稲田大学理工学研究所 喜久井キャンパス内 C-5

早稲田大学喜久井のキャンパス内には当時防空壕があり、早稲田通りから喜久井まで連結されていました。昭和20年5月25日の東京西部の空襲で、近隣住民の方や学生など300人を超える人たちが避難しましたが、焼夷弾による火災から発生する煙を煙突状の防空壕が猛烈に吸い込み、多くの方が亡くなりました。この観音像は空襲で亡くなった人の霊を慰め永遠の平和を懇願するため、二紀会水野隆業氏に依頼し建立したもので、毎年5月25日には近隣の方々が共催で慰霊祭を行い、冥福を祈っています。(団体で見学を希望する場合は、喜久井町キャンパス事務所までお立ち寄りください。)

**4 納骨施設** 戸山 国立感染症研究所内 C-4

平成元年7月、国立感染症研究所の建設工事中、土中から少なくとも62体の骨が発見され、その供養のため石碑が建てられました。この一帯には、敗戦まで陸軍医学学校があり、産院の結果、陸軍軍医学校の標本などに由来する人々のものである可能性が高いと判断されました。その後の、厚生労働省ではこれらを保管することとし、平成14年3月に納骨保管施設が完成しました。(研究所敷地内のため、一般の方の見学については、事前に研究所にお問い合わせください。)

### D (高田馬場・西早稲田) コース

距離: 約 3.4km 所要時間: 約 70分

**1 陸軍省所轄地境界石** 大久保 道徳池内 C-4

戸山公園周辺の土地は陸軍戸山学校用地として買い上げられ、後年戸山ヶ原と呼ばれました。

**2 射撃場土手跡** 大久保 戸山公園内ほか C-4

陸軍省用地となった戸山ヶ原射撃場跡にあった土手の一部です。流れ弾を防ぐために設けられました。

### ゴール JR東日本 西武新宿線 高田馬場駅

**4 彰忠碑** 西早稲田 子育地蔵尊内 B-4

彰忠碑は、四国松山と高知の間で採掘された大変珍しい「伊予の青石」で作られた日露戦争の凱歌記念碑です。表の字は当時の元帥陸軍大将・奥保豪の書です。この周辺は当時、源兵衛村と呼ばれ、村から7名が従軍したことを記念して作られました。関東大震災でも倒れることはなく、東京空襲で戸塚地域がほとんど焼け野原になったとき、ここにある子育地蔵尊の周辺だけは奇跡的に焼け残り、お地蔵様が守ってくれたと地域の人々は感謝しそうです。

**近衛騎兵連隊之跡碑** 近衛騎兵連隊宿舎・炊事場跡 戸山 学習院女子大学内 C-4

近衛騎兵とは陸軍のなかでも天皇を守るために全国から選ばれた優秀な若い騎馬兵士のことです。今の戸山三丁目、学習院女子大学の中には石碑が建てられ、今でも宿舎は研究室として、炊事場は教室として使っています。(学校施設内のため、一般の方の見学については、事前に学校にお問い合わせください。)

### E (大久保・新宿) コース

距離: 約 4.7km 所要時間: 約 90分

**1 護神社のイチョウ** 北新宿 C-3

昭和20年の戦災に遭ったイチョウの木です。拝殿は消失しましたが、このイチョウの木は焼け残りしました。黒い部分はウレタンで保護されています。新宿区保護樹

**2 福稻鬼王神社のスタジイ** 歌舞伎町 D-4

昭和20年の戦災で焼け残ったスタジイの木です。境内には焼夷弾により崩れた石碑もあります。スタジイとはバナナの常緑広葉樹のことです。新宿区保護樹

**3 平和の鐘** 西新宿 新宿中央公園内 E-3

昭和62年8月6日、発展する新宿と地球の平和を願い、新宿中央公園芝生広場に設置したものです。高さは約10メートルのステンレス製で、コンピュータ制御により、12個のカリオン(組曲)が四季折々の曲を1日4回(10時、12時、15時、17時)奏で、人々に平和を語りかけます。2本の支柱によって支えられた球体は地球を表し、支柱は地球の平和を願う強い意思の芽を、また、前後の鋭い角柱は発展していく人々の強い意思と力を表現しています。

**6 平和の泉・平和祈念像・平和の灯・新宿区平和都市宣言記念板** 歌舞伎町 新宿区役所本庁舎前 D-4

平成元年8月5日、区平和啓発事業の一環として、区役所正面玄関前に設置したものです。泉の水は、長崎市平和公園にある「平和の泉」の源流・浦上川上流の「患の丘長崎原爆ホーム」内の池の湧き水から採取されました。また、「平和の泉」の中央に高さ185cmのブロンズ製観音像「光る波」を設置しました。像は長崎の「平和祈念像」の作者、北村西望氏の長男、北村治衛氏の作品です。新宿区を訪れる方々に、平和の大切さ、いのちの尊さを語りかけます。

**平和の灯** 昭和63年7月30日、広島市平和記念公園内にある「平和の灯」と長崎市平和公園内にある「誓いの火」を分火し、ひとつのガス灯に合わせ区役所正面外壁に設置したものです。平和の象徴である輪を配置した「平和の灯」は、世界の恒久平和の実現を目指す新宿区民の決意を表したものです。新宿区平和都市宣言記念板 昭和61年8月4日、新宿区平和都市宣言を記念し、宣言文を記した青銅版を区役所本庁舎正面玄関前の柱に設置しました。この他にも、平和宣言板を区立小・中学校など区の施設に設置しています。

### ゴール 都営大江戸線 都庁前駅 (A4出口)

### スタート JR東日本 西武新宿線 東京メトロ東西線 高田馬場駅

**1 陸軍省所轄地境界石** 大久保 道徳池内 C-4

戸山公園周辺の土地は陸軍戸山学校用地として買い上げられ、後年戸山ヶ原と呼ばれました。

**2 射撃場土手跡** 大久保 戸山公園内ほか C-4

陸軍省用地となった戸山ヶ原射撃場跡にあった土手の一部です。流れ弾を防ぐために設けられました。

### ゴール JR東日本 西武新宿線 高田馬場駅

**3 明治天皇射的砲術天覧所址碑** 高田馬場 諏訪神社境内 B-4

諏訪通り南側(現在の都立戸山公園、早稲田大学理工学部などがある一帯)は陸軍省用地となり、終戦まで軍施設として使われました。明治天皇は明治15年11月9日に近衛射的場(戸山ヶ原射撃場)開場式に出席し、さらに同29日には見晴らしのよい高台にある諏訪神社境内より射的砲術をご覧になりました。当時天皇が2度も訪問するというのは大変めずらしいことでした。これを記念に、昭和18年11月22日に石柱碑が建てられ、翌月、東京都より行幸史跡に指定されました。

### スタート JR東日本 大久保駅 (北口)

**1 護神社のイチョウ** 北新宿 C-3

昭和20年の戦災に遭ったイチョウの木です。拝殿は消失しましたが、このイチョウの木は焼け残りしました。黒い部分はウレタンで保護されています。新宿区保護樹

**2 福稻鬼王神社のスタジイ** 歌舞伎町 D-4

昭和20年の戦災で焼け残ったスタジイの木です。境内には焼夷弾により崩れた石碑もあります。スタジイとはバナナの常緑広葉樹のことです。新宿区保護樹